

再 評 価 調 書

NO. 1

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道305号 南越前町 河内～奥野々		
事業目的						
<p>一般国道305号は、石川県金沢市を起点とし、福井県内の越前海岸沿いを通過して、南越前町河野から内陸部へ入り、南越前町湯尾に至る幹線道路である。本路線は日常生活交通のみならず、農林水産物の輸送等交通の主要ルートであるとともに、自然環境に優れた越前海岸を通る観光ルートとしても重要な機能を有している。このうち、南越前町河内と奥野々との間は、現在ホノケ山付近で交通不能となっており、この交通不能区間を解消するものである。</p> <p>また、国道8号のリダンダンシーが確保されることや、旧町村を結ぶ合併支援道路としてネットワークが形成される。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=6,385m 、幅員8.5m(車道幅員6.0m) 一般部 3,676m 、トンネル2,709m</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成16年度	平成16年度	平成16年度	平成25年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		9,000,000	7,006,000	77.8%	1,994,000	
財 源 内 訳	国 庫	4,865,850	3,812,600	/	1,053,250	1/2 5.5/10
	県	4,134,150	3,193,400		940,750	
費用対効果		1.68 (総便益 178億円 、総費用 106億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・奥野々工区(延長1,468m)のうち、掘削および覆工が完了。 ・河内工区(延長1,241m)のうち、掘削が完了予定。 				
	H24以降残事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度の供用を目指し、トンネル工(覆工、舗装、照明、非常用設備)の進捗を図る。 				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (91.0億円)	90.0億円	建設発生土の現場内流用や丹南地域総合公園など、他工事への流用により1億円縮減となる。			
完成予定年度	— (平成25年度)	平成25年度	変更なし。			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> ・合併支援事業としても位置付けられる目的が達成されない。 ・交通不能区間の解消が図られない。 ・観光ルートとしての交通の円滑化が図られない。 						
備 考						

再 評 価 調 書

NO. 2

事業名	道路改良事業	事業区間	一般国道416号 福井市 白方町～布施田町			
事業目的						
<p>一般国道416号は、福井市を起点とし、石川県小松市に至る延長約89kmの幹線道路であり、テクノポート福井や福井港と福井市中心市街地を連絡し、北陸自動車道福井北ICへアクセスする重要な産業道路であり、越前海岸と福井市街を連絡する広域観光道路となっており、現道交通混雑の緩和を図り、安全で円滑な交通を確保する道路である。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=5,200m 幅員11.0m(車道幅員6.5m)L=1,480m 片側歩道(W=2.5m) 幅員9.5m(車道幅員 8.0m) L=3,720m 歩道なし</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成18年度	平成19年度	平成23年度	平成28年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		3,900,000	1,434,150	36.8%	2,465,850	
財 源 内 訳	国 庫	2,169,720	754,500	/	1,415,220	1/2 6.0/10
	県	1,730,280	679,650		1,050,630	
費用対効果		4.60 (総便益 207億円、総費用 45億円)				
事業の進捗状況	H23までの 状況	・用地買収(約68%)、埋蔵文化財調査、道路土工を行っている。				
	H24以降 残事業	・用地買収、埋蔵文化財調査を完了させ、道路改良工事を行う。				
当初・前回 との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (39.0億円)	39.0億円	変更なし。			
完成予定年度	— (平成26年度)	平成28年度	事業に必要な用地の取得に長期間要したため、完了年度が2年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<p>・福井市市街地とテクノポート福井や福井港を結ぶネットワークが形成されない。 ・計画交通量を円滑に通行させる道路網が構築されないため、現道の交通渋滞が解消されない。</p>						
備 考						

再 評 価 調 書

NO. 3

事業名	道路改良事業	事業区間	一般国道416号 勝山市 野向町横倉～県境			
事業目的						
<p>当道路は、勝山市と石川県小松市を連絡する幹線道路であり、両市の交流、連携を促進する道路として重要な路線である。しかし、現況は交通不能区間となっており、開通すれば、両市を直結するだけでなく、広域観光ルートや災害時の代替路として重要な路線となる。</p> <p>このため、石川県と連携し、交通不能区間を解消し地域の産業、経済の活性化を図るとともに、安心できる交通の確保を図る。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=3,774m 、幅員5.0m(車道幅員4.0m)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成28年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		1,450,000	542,540	37.4%	907,460	
財 源 内 訳	国 庫	670,950	282,600	/	388,350	1/2,6/10 4.5/10
	県	779,050	259,940		519,110	
費用対効果		1.95 (総便益 37億円 、 総費用 19億円)				
事業の進捗状況	H23までの 状況	・用地買収が完了し、順次改良工事を行っている。				
	H24以降 残事業	・今後も改良工事を推進し、平成28年度完成を目指す。				
当初・前回 との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (14.5億円)	14.5億円	変更なし。			
完成予定年度	— (平成23年度)	平成28年度	地形上両側からの施工ができず、片押し施工となること、また、降雪により、施工期間が5月～11月の7ヶ月間と限られるため、完了年度が5年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> ・福井県と石川県を結ぶネットワークが形成されない。 ・国道157号が災害、事故等により通行止めになった場合は、迂回に長時間を有する。 						
備 考						

再 評 価 調 書

NO. 4

事業名	道路改良事業		事業区間	主要地方道福井今立線 福井市西大味町～鯖江市上戸口町		
事業目的						
<p>主要地方道福井今立線は、越前市、鯖江市、福井市を結び、地域間交流の促進や産業経済の発展に大きく貢献する重要な路線であるが、戸ロトンネルを含む前後は、線形不良・幅員狭小・急勾配のため、交通安全上危険な状況で、冬期間にはスリップ事故が多発するなど、通勤や物流などに支障をきたしていることから、新トンネルによるバイパス整備により線形不良・幅員狭小・急勾配区間を解消し、安全で円滑な交通を確保するものである。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=2,800m、幅員9.75m(車道幅員6.0m) 一般部 1,360m、トンネル1,440m</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成19年度	平成20年度	平成22年度	平成26年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		4,550,000	1,925,785	42.3%	2,624,215	
財 源 内 訳	国 庫	2,623,922	1,117,322	/	1,506,600	6/10
	県	1,926,078	808,463		1,117,615	
費用対効果		1.8 (総便益 98億円、総費用 54億円)				
事業の進捗状況	H23までの 状況	・平成22年度からトンネル工事に着手し、掘削を行っている。				
	H24以降 残事業	・トンネル部および明り部の工事進捗を図り、平成26年度に供用を目指す。				
当初・前回 との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (45.5億円)	45.5億円	変更なし。			
完成予定年度	— (平成25年度)	平成26年度	事業に必要な用地の取得に長期間要したため、完了年度が1年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<p>・福井市と鯖江市および越前市を結ぶネットワークが形成されない。 ・特に冬季における車両の安全な通行が確保されない。</p>						
備 考						

再 評 価 調 書

NO. 5

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道305号 福井市大味町～蒲生町		
事業目的						
<p>一般国道305号は、旧越廼村の交流・連携を支援する唯一の道路であり、現道は通学路にも指定されている生活道路である。しかし、観光シーズンには慢性的に交通渋滞が発生するとともに、道路幅員が狭く歩道がないことから車両、歩行者等の安全で安心な通行に支障をきたしている。このため、越廼地区・大味町～蒲生町を対象に「地域の活性化を支援(広域的な交流・連携の支援)」、「渋滞の解消」および「歩行者等の安全の確保」を目的として、バイパスを整備を行っている。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=1,810m 幅員15.0m(車道幅員6.5m) 一般部 1,734.0m トンネル拡幅 76.0m</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成15年度	平成15年度	平成17年度	平成25年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		3,306,000	3,031,000	91.7%	275,000	
財 源 内 訳	国 庫	1,848,500	1,690,700	/	157,800	6/10 5.5/10
	県	1,457,500	1,340,300		117,200	
費用対効果		1.46 (総便益 57億円、総費用 39億円)				
事業の進捗状況	H23までの 状況	・全体延長1,810mのうち、822m(2車線)を供用済。				
	H24以降 残事業	・平成24年度以降も用地・補償契約手続き、改良工事を行い、平成26年度に完了供用を目指す。				
当初・前回 との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (37.7億円)	33.1億円	トンネル工事の仮設道路の見直しおよび、建設発生土の工事間流用により4.6億円縮減となる。			
完成予定年度	— (平成23年度)	平成25年度	事業に必要な用地の取得に長期間要したため、完了年度が2年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<p>・沿線市町村のネットワークが形成されず、地域間交流が促進されない。 ・幅員狭小、線形不良箇所が解消されないため、安全な通行が確保されない。 ・歩道が整備されないことから、歩行者の安全な通行が確保されない。</p>						
備 考						

再 評 価 調 書

NO. 6

事業名	広域河川改修事業		事業区間	一級河川 天王川 丹生郡越前町 市～宝泉寺		
事業目的						
<p>天王川は一級河川九頭竜川の支流日野川に合流する河川で、越前町市街地を流れる河川である。 現況断面の流下能力(治水安全度1/3以下)が低いため、暫定で治水安全度を1/5(流下能力390m³/s)確保し、最終形で1/20(流下能力550m³/s)確保を目指し整備を行い、水害から住民の命と財産を守る。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=2,000m 築堤工 L=2,000m、掘削工 L=240千m³、橋の架替 N=4橋 樋門 N=4基、堰 N=2箇所、用地及び補償費 1式</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成29年度		
事業費 (千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		3,850,000	1,323,000	34.4%	2,527,000	
財 源 内 訳	国 庫	1,925,000	661,500	/	1,263,500	1/2
	県	1,925,000	661,500		1,263,500	
費用対効果		11.0 (総便益 455億円、総費用 41億円)				
事業の進捗状況	H23までの 状況	・最下流に位置する市姫橋の改修が完了。流下能力の最も低い上流部の左岸引堤425mが完了。				
	H24以降 残事業	・上流側の橋の架替3橋等を整備し、平成29年度の完成を目指す。				
当初・前回 との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (38.5億円)	38.5億円	変更なし。			
完成予定年度	— (平成24年度)	平成29年度	4橋の架け替えが計画されているが、町道との取付け等に日数を要しているため、完了年度が5年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<p>・現況の流下能力が低く、過去に数回浸水被害を受けている他、近年では漏水被害も確認されているが、市町村合併により越前町中心地となった天王川右岸側流域では朝日中学校の建設、宅地造成等、近年急速に市街化が進んでいる。 ・事業を休止した場合、住宅・学校・病院・福祉施設・行政機関・幹線道路(県道 別所朝日線 町道 宝泉寺グラウンド線)など、住民生活に大きな影響を及ぼす恐れがある。</p>						
備 考						

再 評 価 調 書

NO. 7

事業名	砂防事業	事業区間	杓川(しゃくがわ) 小浜市羽賀			
事業目的						
杓川流域内は荒廃が進み、上流域の河床には多量の不安定土砂が堆積し溪流浸食が繰り返されており、平成16年10月には土砂災害が発生している。下流保全区域には、人家および災害時要援護者関連施設(嶺南西養護学校)等があり、集中豪雨等による土石流による被害は甚大なものになると懸念される。 このため、本事業による砂防施設整備によって流出土砂による災害を防止し、民生の安全を図る。						
全体事業内容						
堰堤工 3基 測量調査設計委託 1式 用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成16年度	平成18年度	平成18年度	平成25年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		338,000	216,750	64.1%	121,250	
財 源 内 訳	国 庫	165,950	108,250	/	57,700	1/2
	県	172,050	108,500		63,550	
費用対効果		4.96(総便益 29.49億円、総費用 5.95億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	堰堤3基のうち、平成23年度末迄に、堰堤2基が完成。				
	H24以降残事業	堰堤3基目(H24~H25)の完成を目指す。				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (3.0億円)	3.4億円	えん堤下部の地盤が軟弱であったため、対策工を施す必要が生じたことにより、0.4億円増額となる。			
完成予定年度	— (平成24年度)	平成25年度	えん堤下部の地盤が軟弱であったため、対策工を施す必要が生じ、完了年度が1年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
本溪流は荒廃し崩壊地が数多くあり、豪雨時には土石流等の土砂災害により人家に多大な被害を与える恐れがある。 また、被害想定区域内には、県立嶺南西養護学校があり、災害時要援護者の安全が確保できなくなる。						
備 考						

再 評 価 調 書

NO. 8

事業名	砂防事業	事業区間	安田川(やすだがわ) 福井市安田町			
事業目的						
<p>安田川は、平成16年7月の福井豪雨時に、溪流の不安定土砂が土石流となり下流人家付近まで流下し、大きな被害が発生した。</p> <p>今なお、流域の中流から下流にわたり溪岸浸食や砂礫が多く堆積しており、今後の豪雨により土砂が流出し下流人家等への被害が懸念される。</p> <p>このため、下流域の人命と財産を土砂災害から守るため、砂防堰堤を整備する。</p>						
全体事業内容						
堰堤工 1基 溪流保全工 51m 測量調査設計委託 1式 用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成19年度	平成19年度	平成24年度	平成26年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		260,000	41,300	15.9%	218,700	
財 源 内 訳	国 庫	123,900	20,000	/	103,900	1/2
	県	136,100	21,300		114,800	
費用対効果		7.42 (総便益 19.29億円、総費用 2.60億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	設計業務が完了。				
	H24以降残事業	堰堤1基目(H24~H26)の完成を目指す。				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (2.6億円)	2.6億円	変更なし。			
完成予定年度	— (平成23年度)	平成26年度	用地交渉が難航したため、完了年度が3年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<p>本溪流は、溪岸浸食が激しいため、今後の集中豪雨により土石流が発生し、下流の人家や公共施設に多大な被害を与える恐れがある。</p> <p>また、土砂災害により県道の交通網が寸断されると、車両の通行、物資の輸送ができなくなり、地域の生活や経済に大きな影響を与える。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 9

事業名	急傾斜地崩壊対策事業	事業区間	寺谷地区(てらたにちく) 若狭町気山			
事業目的						
<p>寺谷地区は若狭町の北部に位置し、保全人家17戸および避難場所である公民館を含むがけ高42m勾配40°の急傾斜地である。平成11年8月の集中豪雨では小崩壊が発生しており、今なお、崩壊地があるため、今後の豪雨により斜面が崩壊する危険性が高く、人家等への被害が懸念される。</p> <p>このため、急傾斜地に面している住民の生命と財産を斜面崩壊から守るため施設整備を実施するものである。</p>						
全体事業内容						
全体延長	700m					
擁壁工	657.1m					
法面工	1533㎡					
測量調査設計委託	1式					
用地補償	1式					
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成15年度	平成15年度	平成15年度	平成25年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予算額		462,000	375,865	81.4%	86,135	
財源内訳	国庫	207,300	168,350	/	38,950	4.75/10
	県	214,300	171,215		43,085	
	その他	40,400	36,300		4,100	
費用対効果		2.28(総便益12.13億円、総費用5.31億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	擁壁工573m、法面工785㎡が完成。				
	H24以降残事業	擁壁工84.1m、法面工748㎡の完成を目指す。				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (4.6億円)	4.6億円	変更なし。			
完成予定年度	— (平成25年度)	平成25年度	変更なし。			
事業を休止した場合の影響						
<p>本地区には、崩壊地もあることから、今後の集中豪雨により斜面崩壊が発生し、急傾斜地に面している人家等に多大な被害を与える恐れがある。</p>						
備考						

再 評 価 調 書

NO. 10

事業名	広域河川改修事業	事業区間	一級河川 磯部川 坂井市春江町安沢～春江町為国			
事業目的						
<p>磯部川は、一級河川九頭竜川の支川で、坂井市春江町中心部を流れる河川である。 現況の流下断面が不足していることから、現況断面の治水安全度1/2未満(流下能力3m³/s)から1/50(流下能力60m³/s)に高めることで、水害から住民の生命と財産を守る。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=5,670m 掘削・護岸 L=5,670m、橋の架替 N=24橋、用地補償 1式</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	昭和47年度	昭和47年度	昭和50年度	平成28年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		16,703,000	13,858,300	83.0%	2,844,700	
財 源 内 訳	国 庫	8,351,500	6,929,150		1,422,350	1/2
	県	8,351,500	6,929,150		1,422,350	
費用対効果		3.56 (総便益 1,450億円、総費用 407億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	・事業延長5.67kmのうち、下流から5.55kmが完了している。				
	H24以降残事業	・関係機関(JR等)との調整を図り、平成28年度完成を目指す。				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	161.3億円 (145.3億円)	167.0億円	土質調査結果から、軟弱地盤対策が必要となったため、5.7億円増額となる。			
完成予定年度	平成26年度 (平成20年度)	平成28年度	用地補償の交渉、JR等との協議に日数を要したため、完了年度が2年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<p>・残るJR北陸本線の橋梁部は、特に流下能力が小さいことから、周辺住宅地の浸水被害をもたらす原因となっている。 ・事業を休止し残るJR北陸本線交差部が未施工となった場合、周辺住宅地における浸水被害を防げないことから、住民生活の安全性が確保できない。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 11

事業名	海岸侵食対策事業		事業区間	敦賀港海岸【松原地区】 敦賀市松島地係		
事業目的						
<p>敦賀港海岸松原地区は、国の名勝「気比の松原」を有し、県外から多くの観光客が訪れる県内でも有数の海水浴場であるが、松林を背後にもつ松原工区では近年の海岸侵食によって汀線の後退や、松林の被害が発生している。また住宅地を背後にもつ松島工区では、冬季風浪時に住宅等への越波被害が発生している。こうした被害を抑えるために侵食対策を実施し被害の防止を図る。</p>						
全体事業内容						
離岸堤 L=240m(2基)、護岸 L=345m、突堤 L=119m(1基)、養浜 V=4万3千m ³						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成6年度	—	平成7年度	平成31年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		2,851,000	2,221,312	77.9%	629,688	
財 源 内 訳	国 庫	1,425,500	1,110,656		314,844	1/2
	県	1,425,500	1,110,656		314,844	
費用対効果		4.73 (総便益195.9億円、総費用41.4億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	<ul style="list-style-type: none"> 松島工区(離岸堤、護岸、突堤)については、平成15年度に整備が完了している。 松原工区(養浜)については、平成21年度に段階施工を実施し養浜量1万3千m³を完了。平成22、23年度に段階施工の検証を行っている。 				
	H24以降残事業	<ul style="list-style-type: none"> 養浜の整備効果を把握するため海浜の侵食と堆積の状況をモニタリングしながら、養浜の整備量を判断した上で、残りの養浜を実施していく。 				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	39.2億円 (39.2億円)	28.5億円	段階施工後のシミュレーションの結果、侵食防止に必要な養浜量が減少したことにより、10.7億円縮減となる。			
完成予定年度	平成29年度 (平成26年度)	平成31年度	養浜の効果や周辺への影響を検証するモニタリングを実施するため、完了年度が2年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> 海岸侵食が進行し名勝に指定されている松林の被害がさらに拡大する。また砂浜幅の減少により海水浴場としての機能が低下し観光客が減少する恐れがある。 						
備 考						